

# 社長の流儀



カーチェック株式会社  
代表取締役社長

宇野澤 信治  
Shinji Unosawa



山形県ナンバーワンの  
カーライフトータル  
アドバイザーを目指し、  
「自走する」社員の  
育成に取り組む。

職からの転身だった。

カーチェックに入社後任されたのはグループ会社の株式会社カーチェック庄内。前職イエローハットからの車検業務を新規受注するなど、新たな得意先の開拓により庄内エリアでの採算ベースに乗せた。そして一年後の平成二十一年に本社へ。

「本社で最初に取り組んだのは、経営状態の改善でした。具体的には、前職の退職金を借入金返済に充て、自身の報酬も減額する一方、これと並行して車検や整備の既存発注先の確保、新規発注先の開拓、中古車販売の強化などを徹底して行いました。」

## 社員のモチベーションを高め、オープンな経営環境を共有する

もう一つの大きな改革は社員の評価と給与規定の見直しだった。



カーチェックバイパス店の新車・中古車販売スタッフ。イベントにも積極的に参加するなど、一般ユーザーとの大切な接点となる。

見合った評価がされておらず、逆に年配の社員には勤続年数のみでの待遇に甘えもあって…。結果として、どちらもある気、熱意、モチベーションが薄れてしまっていたんですね。



予備車検場の本店&立谷川店スタッフ。カーチェック創業以来のコア事業として、山形県内での入庫シェアナンバーワンを誇る。

そこで宇野澤社長は、それまでの単純な年功序列型から、技術レベルや作業量によるステップアップ型への改革を実施。多くの社員の給与を全体的に底上げしながら、仕事のレベルが下がれば減給もあり得ると、ベテラン社員たちにもはっきり告げた。

経営状態はわずか一年で取引銀行の担当者も驚くほどに好転し、これらの業績を踏まえて常務職からトップに就任した宇野澤社長。社員たちの向上心も格段にアップした。

「社員の給与レベルを少しでも上げていきたい。そのためには粗利を重視する必要があります。社長就任後は会社の収益状況

## 予備車検の トップシェア企業から、 カーライフの総合サポートへ

昭和五十三年創業。山形市唯一の予備車検場として三十五年の社歴を持ち、車検入庫台数は年間三万五千台。山形県内においてもほぼトップシェアを占めるカーチェック株式会社(以下カーチェック)。

平成十四年からは、予備車検の実績をふまえて、ユーザー車検受験者の増加に伴って、マイカーの保安・自己管理のための「ユーザー車検教室」をスタート、安心、安全な車社会に、大きく寄与している。

その後、平成十八年より自動車整備・板金塗装業務を、平成二十年より新車・中古車販売業務を次々と展開し、販売から整備・修理・車検、保険業務まで車に関するすべてをトータルにサポートするカーライフアドバイザーとしても認知度が高まっている。

## イエローハットから カーチェックへ 新たな挑戦がスタート

宇野澤信治社長が、カーチェック二代目社長として就任したのは、平成二十二年。奥様が初代社長の娘だった縁で平成二十年の入社から三年後のことである。

前職はイエローハット株式会社ピットサービス運営部副部長。全国のイエローハットの点検整備・修理部門を統括する要

をオープンにし、目標を社員一人ひとりのレベルに落としこみました。

その結果、社員一人あたりの粗利は、宇野澤社長が入社した平成二十年当時 compared to、ほぼ二倍に達しようとしている。

## カーチェックが求める社員像と 企業が目指す理想に向かって

強烈な個性と情熱を前面に出して会社を牽引するというより、飄々とした温和な対応で社員をきめ細かく掌握し、自然に導いていくのが宇野澤社長の流儀。

「自分なりに先頭に立って突っ走ってきましたが、求めるのは「自走する社員」。それを後ろから正しい方向に背中を押していくのが理想の社長像ですし、目指す会社のあり方でもあります。」

進むべき方向性を示しながら、時おり後ろに回ることで前を走る社員を見渡せ、気づきもあり、ケアが必要なタイミングも逃さないのだという。



カーチェック山形店の板金・塗装スタッフ。豊富な経験に支えられたきめ細かな対応とすぐれた技術力が自慢。



ヨーロッパでは主流となっている環境負荷の低い水性塗装ブースを、他に先駆けてイタリアから輸入。輸入車ディーラーからも高い評価を得ている。



現在、カーチェックの社員は二十七名。板金塗装においてはホンダ、ヤナセ、各損保会社からの指名を受け、環境にも配慮した水性塗料による塗装が可能な最新設備を導入。車両販売は常時一〇〇台以上の在庫を保持し、年間六回のイベント参加と「カーベル」パートナーとして新車・中古車を半額で乗れるハートプライスを展開する。

「社員の技術、自社設備に関しては自信があるんです。この強みをいかに広くアピールし、カーチェックという会社を多くの方に知っていただくのが、大きな課題ですね。」

顧客の安心感と信頼を高めるためのホームページの充実や、販促業務におけるスタッフ強化が何よりの急務だ。

第一に会社の健全な存続。そして、単なる下請け業務から、一般ユーザーをターゲットとした提案型のカーライフトータルアドバイザーへ。カーチェックと宇野澤社長の、さらなる変革と挑戦が続く。



●カーチェック株式会社  
設立 昭和58年5月13日(創業昭和53年)  
本店 〒990-2211  
山形市大字十文字字大原851-1  
TEL:023-686-3333  
FAX:023-686-3390

支店 バイパス店・山形店・立谷川店  
関連会社 株式会社カーチェック庄内  
URL <http://www.car-check.co.jp>

●宇野澤 信治 プロフィール  
1964年生まれ、仙台市出身。東北学院大学卒業後、株式会社イエローハット入社(入社時は「株式会社ローヤル」。仙台支店勤務を経て東京支店に配属となり、その後、全国トップクラスの横浜港南店店長、ピットサービス運営部副部長を務め、優秀社員賞も受賞。2008年、カーチェック株式会社入社。2010年、代表取締役役に就任する。

取材・文/長岡 信也(有限会社 マン・クリエイト)  
撮影/菊池 元樹(株式会社 アイ・エム・シイ)

CORPORATE & PERSONAL PROFILE